

会報 いずみ

No.183

発行／公益社団法人 昭島市シルバー人材センター 編集／広報委員会



①集合写真
②会員作品展示実行委員長の渡邊理事
③栗原輝雄会長
④ふれあい祭り実行委員長の藤橋理事

〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目32番18号
電話 042-544-7060 FAX 042-543-9272
ホームページ [昭島市シルバー人材センター](#)



会員数	男性	女性	合計
(令和5年9月25日現在)	767人	357人	1,125人 (未回答1人)

**令和5年度
第1回理事・地域班長全体会議が
開催されました！**

9月13日(水)(9時30分から)、松原町高齢者福祉センターにて、令和5年度第1回理事・地域班長全体会議が開催されました。当日は地域班長31名、理事17名が出席し、平塚理事の司会で進行されました。

◎**最初に栗原会長からのあいさつ**

あいさつの中で、6月の総会後に決まった新三役の紹介がありました。2年目を迎えた「第四次中期計画」は順調に推移しております。インボイス制度対応は、事務費1%アップの対応をしたので賄える見通しです。最大の問題は事務所移転(令和7年3月まで)で、市役所と一緒に検討しているところです。第13回昭島シルバーふれあい祭りは10月1日(日)に開催します。

◎**各中学校地区の地域班長と地区理事の紹介**

◎**当センターの現況報告**

三浦常務理事からは、当センターの事業実績(7月末現在)について4度目の5億円台も可能ではないかと、会員数は現在1,122名では第四次中期計画の最終目標である1,300名は厳しい状況です。との報告がありました。

◎**作業部会、委員会の活動内容報告**

☆**総務部会**(石合副会長兼部会長)：今も

続いている新型コロナウイルス感染症の防止に留意しながら、安全・安心の確認のもとに、既に終了した総会をはじめ作業部会、研修・講習会などの開催を推進していく。

☆**事業部会**(三浦常務理事兼部会長)：民間企業他の接遇研修を11月に実施予定です。保育園、こども園と幼稚園の12園を訪問し、概ね感謝されている状況を確認しました。

☆**広報委員会**(渡邊委員長)：会報いずみ(夏季号)を発行し、センターのPRのため「昭島シルバーふれあい祭り」と昭島市の「産業まつり」に参加致します。「ふれあい祭り」ではパソコンコーナーでAーお絵描き等の体験を、「産業まつり」ではスーパースポーツを行いいます。それに、広報委員の募集のお願いがありました。

☆**安全管理委員会**(佐々木委員長)：今年も2回の安全就業巡回点検を実施します。また、傷害・賠償事故が増加傾向にありますので、皆さんご注意下さい。それに緊急連絡カードをまもなく配布いたします。

◎**昭島シルバーふれあい祭りについて**
(藤橋実行委員長)：4年ぶりのふれあい祭りとパソコンコーナーでドローン操縦体験を行う案内がありました。

◎**パトロールボランティア助成金授与**
田中パトロールボランティア実行委員長よ



り各地区委員に助成金が授与されました。次に、質疑応答が行われ、会長のお答えの中に「元気な高齢者がシルバー人材センターに沢山いる世の中にしたい」と言う言葉がありました。最後に石合副会長より閉会のあいさつがあり、閉会となりました。

第13回昭島シルバーふれあい祭り
 ～爽やかな秋風のもと盛大に開催～

コロナ禍のため中止されていた私達の「ふれあい祭り」が秋の兆しとなった10月1日(日)午前10時～午後3時、当センター中庭を中心に多くの来場者(約350人)をお迎えして、4年ぶりに盛大に開催されました。

祭りは藤橋実行委員長の開会宣言に続き、開会式が行われました。その後、イキイキ・ニコニコ介護予防教室の皆さんによる「フラダンス」、野島会員による「安来節等の踊り」、後藤会員による「フルート演奏」が披露されました。その後「東京音頭」などの踊りが行われ、来場者の飛び入り参加もあり、大いに盛り上がりました。

会場内には、各地域や職群ごとに工夫を凝らした屋台が設けられ、会員同士の語らいの場や近隣の人々とのふれあいの場ともなり皆様に楽しんでいただいていた様子でした。また、センター館内1階に「Aーお絵描



きコーナー」と「ドローンのシミュレーションコーナー」を設け、2階で「ドローンの実機を使ったデモンストラーション飛行」を行い、来場されたお子さんや保護者等の方々が大いに楽しんだ様子でした。今回の「ふれあい祭り」は天候にも恵まれ、会員相互の交流が一段と深まり、信頼感がより高まったことは間違いなく、これからも当シルバー人材センターの発展に寄与していくものと思えます。

第27回会員作品展覧会

数年ぶりの開催ですが展示会場がいっぱいになる程の80点を越える作品が集まりました。製作熱意を感じさせる力作から、どうしてこんなに素晴らしい出来なのかと感心する程の作品まであり、やはりシルバーは多様な人材の集まりだと誇らしく感じます。

趣味や特技を生かして個人や仲間と作品作りに取り組み、そして皆様に披露できる毎年の展示会は、会員の皆様の生きがいに大きく寄与しています。

鑑賞をされた方は、自分のレベルとは比較せず、勇気をだして次の機会には



ぜひ作品を出しましょう。

今年は「産業まつり」に参加します

11月11日(土)～12日(日)FOSTERホール(昭島市民会館)公民館前で開催される、産業まつりに当センターは参加します。

昭島市シルバー人材センターのブースは、広報委員会、会員増強検討委員会、家事援助サービスクラス(子育て支援グループ)、理事会のスタッフで参加します。

ブース前では、PR用チラシやマスク配布を行い、シルバー人材センターをPRします。また、ブース内では、スーパースポーツで、お子様を集めて親御さんにアピールします。

会員の皆様もお孫さんを連れて産業まつりに遊びに来られたらいかがですか？



理事会だより

7月定例理事会（7月31日）

議決事項より一部抜粋

- ・ 会員の入会承認について（男性8名、女性3名計11名）
- ・ 就業基準に基づく再契約について（8件、延23名）

報告事項より一部抜粋

- ・ 総務部会より正副部会長の互選について
部会長 石合進
副部会長 藤橋忠悟
- ・ また、令和5年度第1回理事・地域班長全体会議を、9月13日に松原町高齢者福祉センターで開催する。
- ・ 事業部会より正副部会長の互選について
部会長 三浦武男
副部会長 田中昭夫
- ・ また、企業訪問は9の保育園、こども園、幼稚園の訪問を予定する。
- ・ 広報委員会より委員長の互選について
委員長 渡邊一男
副委員長 清水則雄（後日決定した）
- ・ 安全管理委員会より委員長の互選について
委員長 佐々木省吾
副委員長 和智孝（後日決定した）
- ・ 東京しごと財団第1回会長会議について
会長が出席した。
- ・ などの報告がありました。

8月定例理事会（みなし決議）

理事会は、書面で議決を行う「みなし決

議」の手續ぎが取られました。理事からは同意書、監事からは確認書が返送され、全員異議なく、8月分理事会は成立しました。

議決事項より一部抜粋

- ・ 会員の入会承認について（男性7名、女性1名計8名）
- ・ 就業基準に基づく再契約について（200件、延970名）

報告事項より一部抜粋

- ・ 議案を承認可決する旨の理事会の「みなし決議」があったものとみなされる日を令和5年8月28日とする件について
などが承認されました。
- ・ 第2回ふれあい祭り実行委員会より正副実行委員長の互選について
実行委員長 藤橋忠悟
実行副委員長 和智孝
- ・ また、第13回昭島シルバーふれあい祭りの開催日を10月1日（日）とする。
- ・ 第2回パトロールボランティア実行委員会より正副実行委員長の互選について
実行委員長 田中昭夫
実行副委員長 戸田治夫
- ・ 第1回会員作品展示会実行委員会より正副実行委員長の互選について
実行委員長 渡邊一男
実行副委員長 金泉昌夫
- ・ また、第27回会員作品展示会の開催日を10月1日（日）・2日（月）とする。
- ・ 広報委員会よりふれあい祭りでのパソコンコーナー開設と産業まつり（11月11日・12日）に出店する。

令和6年度第14回定時総会の開催日について令和6年6月14日（金）に開催する。

新任理事研修について8月21日にオンラインで新任理事（賀曾利、山田）が参加しました。
などの報告がありました。

9月定例理事会（9月25日）

議決事項より一部抜粋

- ・ 会員の入会承認について（男性3名、女性6名計9名）
- ・ 就業基準に基づく再契約について（17件、延31名）
などが承認されました。

報告事項より一部抜粋

- ・ 総務部会よりインボイス制度は進展がありません。また、表彰規定はパトロールボランティアの表彰を含めて検討する。
- ・ 事業部会より12の保育園、こども園、幼稚園の訪問をし、概ね感謝されている状況を確認した。
- ・ 第3回昭島シルバーふれあい祭り実行委員会より目標来客数は、350名とし、宣伝は控えめとする。
- ・ 第1回会員増強検討委員会より正副実行委員長の互選について
実行委員長 平塚 利夫
実行副委員長 網野 和子
- ・ 第2回会員作品展示会実行委員会よりふれあい祭りでの喫茶コーナーは、10月1日（日）のみとする。
- ・ などの報告がありました。

「コロナウイルスの感染予防について」

安全管理委員長 佐々木省吾



最近、コロナという言葉を目にすることが少なくなりました。第5類の感染症に区分されたからだと思います。しかし、新型コロナウイルスの感染症は、まだピークアウトしていません。水面下で確実に感染拡大しています。今一度、再確認して、予防対策を心掛けるようにしましょう。手指消毒・マスクの着用を行い、感染予防に努力する必要があります。自分の身を新型コロナウイルスから守りましょう。

また、ワクチンの予防接種を受けることも大切です。コロナウイルスがまだ社会に存在し、増加していることを忘れずに注意してください。インフルエンザも流行しておりますので、ご用心ください。



安全管理委員会からのお知らせ

○安全就業推進大会が開催されました。

10月24日（火）、当センターにおいて、会員29名が参加した安全就業推進大会が開催されました。まず、栗原会長より挨拶があり、その後、安全就業標語の表彰式が行われました。

又、自転車管理班、エコ・パーク管理班、植木班、家事援助班による安全就業体験発表が行われました。

続いて和智副委員長による転倒予防体操を健康管理講座「体力測定」実施し、最後に佐々木安全管理委員長の挨拶で閉会されました。



令和5年度安全就業標語決定

テーマ「転倒防止」

今回は、16名、43作品という多数の応募から三作品が選出されました。

☆最優秀賞

緑町 森谷 旭

あわてるな ゆとりのなさが 事故のもと

☆優秀賞

中神町 足立 益幸

いそがず あわてず 転倒防止

☆優秀賞

東町 寺島 久恵

あぶないよ 少しの油断 事故のもと



就業体験記①

放課後子ども教室安全管理業務

宮沢町 西山 禎一

高台にある小学校は南方向に和田橋、多摩大橋さらに山並みの先には富士山が良く見える絶景ボジションにあり、放課後を過ごす子どもたちの安全見守り業務を4名体制で行っています。

コロナ禍でマスクを着用しながらも子どもたちは元気で楽しそうに遊んでいます。安全を見守る業務ですので遊具の決まりが守られていない場合は声をかけたり、水分補給を促しながら、広い校庭、体育館で遊んでいるので、私たちは一か所に溜まらないで周囲に気を配り怪我が起きないように協力し見守っています。

先日、市内で小学校を卒業し現在、大学生の男の子に「レインボーのおじさん」と声をかけられとても嬉しくなりました。子どもたちの見守り業務はやりがいがありますので健康に気を付けて頑張っていきたいです。また、興味のある方はぜひ一緒に働きましょう。



(右から2番目が西山会員)

就業体験記②

「昭島市民くじら祭」自転車整理業務

緑町 清水 則雄



8月26日(土)・27日(日)の二日間、昭島公園等で開催された「昭島市民くじら祭(主催：昭島市商工会)」の事業にシルバー人材センターは、会場内ゴミの片付け、駐輪場内自転車整理、構内清掃業務の依頼をうけ1日当たり10人で担当しました。私は、27日(日)に東小学校入口付近に設けられた自転車駐輪場整理業務に携わりました。

当日、会場ではショーやお笑い芸人の登場、パレードもあり、家族連れや若者の来場が多く、大きな賑わいとなりました。

来場者の中には、自転車を指定場所以外に放置する方があり、主催者が移動を促す状況でした。

そんな中、私達は来場された方々に安全な駐輪場への入退出時の案内を行いました。

今回の就業を通じて改めて市民参加事業の意義を感じ、更に昭島が好きになりました。

パトロールボランティア活動報告

つつじが丘小学校編

つつじが丘 酒井原 雄策

前の地域班長からお声をかけて頂いて、パトロールボランティア活動を始めました。シフト制で、月に3〜4回ほど交差点(瑞雲中学校)で低学年の下校時の見守りを行っています。「遠く離れて住む孫たちも、同じように見守られて通学しているんだろうな」と想像しながら、現場に立っています。生徒たちが元気に家に帰っていく姿を間近に見ていると、ほっこりとした気分になり、淡々と過ぎていく定年後の生活にちよっとした満足感と刺激を与えてくれるようです。

子どもたちは、よくルールを守って、道路に飛び出したりすることもなく、安全に横断歩道を渡ってくれています。

むしろ、分別があるはずの高齢者の一部に「危ないなあ」と思える行為をする方が結構いらっしやいます。足腰が衰え、視野も狭くなりつつある高齢者こそ、「交通安全」を一層肝に銘じてもらいたいものです。





「就業相談の日」に 来られた方のその後

皆さん！「就業相談の日」はご存じですか？ 会報「いずみ」でもご案内していますが毎月第一火曜日午前9時30分から2時間程度センター2階事務所にて、担当理事2名でお仕事探しのお手伝いをしていきます。お仕事をお探しの方、ぜひ、足を運んでみてはいかがでしょうか。



ラベル剥がし業務
(男性、9月より就業開始)



東日本矯正医療センター准 看護師養成「老年看護実習」 (高齢者の理解)の研修を受け 入れました

当シルバー人材センターでは昨年引き続き2回目の受け入れとなりました。

今回は8月28日～9月1日の5日間、毎日数名ずつ計20人の実習生をエコ・パークの公園管理業務現場で受け入れ、シルバーの方と一緒に草取りで汗を流しました。

研修の目的は、高齢者の実態を理解し、高齢者が地域での生活を支える社会資源としての仕組みを知ること、高齢者を個人として尊重する態度や向き合い方などを身に着ける研修のようです。

本年4月に養成所に配属となつた主に20代の実習生の多くは人生初めての草取りを体験し、炎天下での実習はチョットきついようです。

したが、一緒に作業しているシルバーの方の「とても元気な姿に大変驚いた」との発言がありました。

また、実習をおとして、高齢者が社会に出て、その係わりのなかで何かしらの役割を持つことが大切であること、ここで働いているシルバーの方の健康と元気さは一般の高齢者の方と比較しても特段の優等生であろうとの印象を受けました。

なお、実習生は東京以外の方のため、昭島の宣伝方々隣接する「湯菜の里」を紹介したところ、帰りに立ち寄りて帰られました。



「就業相談」の日

毎月第1火曜日

◇ 9:30～11:30

センター事務所 2階

※担当理事が相談をお受けします

編集後記

予定が少ない夏の間「断捨離を」と考えて取り組みました。しかし物を手放すことが如何に難しいか解りました。

自分ではある程度価値があると思っけていても、その所有主である「我」が存在しなくなった時には、たとえ子どもにおいてもほとんど無価値な物(邪魔物)になる現実と価値観は理解しているつもりでも、思い出を引き出す品は処分できず。

人生まだ先があるとの思い込みと少しの欲に負けてしまい、今回は一割ぐらいで妥協。でも、少しは整理できた満足感を得ました。

しかし、何年も手にも取らない品が狭い住居の一部をまだ占拠している状況は変わらず、いずれまた行うことにしました。

それにしても実生活に役立たないガラクタとなる物をよくも買ったものだと反省しつつも、それも作り手の生活にチョッピリ寄与した効果を考え無駄の気持ちも半減で納得とします。

尾形 幸雄

ふれあい祭り & 会員作品展示会

カラダグラフィック
ニュース



安全管理委員会巡回点検 (除草)

安全管理委員会巡回点検 (エコ・パーク)

理事・地域班長 全体会議

新入会員募集中!!

ご紹介いただいた会員の方に粗品をプレゼント

入会者をご紹介ください。入会受付時に紹介された会員の氏名を書いていただきますので、必ずご記入するようにお伝えください。

令和5年度安全就業標語 テーマ：転倒防止

あわてるな ゆとりのなさが 事故のもと